

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 白銀 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問調査

生徒質問調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校3年生は、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

- (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均正答率を下回っている。読解問題の正答率が低いことから、文章から必要な情報を読み取り、自分の考えを結び付けて意見を書くことが難しいことがわかる。
	よくできた問題	漢字問題
	努力が必要な問題	情報を読み取り、その情報と自分の考えと結び付けて文章を書く問題
数学	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均正答率を下回っている。特に、図形や関数の問題で正答率が低く、データの活用問題では、無回答が高かった。
	よくできた問題	正の数・負の数の計算問題
	努力が必要な問題	文字式の計算問題および、関数・図形分野における問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか」の質問に関して、全国平均を上回っている。
・「自分には、よいところがあると思えますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒が全国平均を大きく下回った。
・「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対しても、肯定的な回答をした生徒が下回っている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

・授業においては教え合いや学び合いを継続し、自分の考えを深めたり、広げたりできるように工夫する。

・ICT機器を活用し、基礎・基本の定着を図るとともに、「わかる授業づくり」5つのポイントを意識した授業を行い、その中でICT機器を有効に活用し、主体的・対話的な学びにつなげていく。また個に応じた課題解決の取組を継続していく。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

・基本的な生活習慣や家庭学習の定着を目指した啓発を行う。

・予習・復習の取組等を行い、生徒自ら課題を見つけ主体的に学習する習慣を身に付けていく。